

茨城県守谷市立松ヶ丘小学校（学校長 中川 和彦）

実施日	平成19年12月4日（火）	時間	午前9時30分～午後12時
実施場所	体育館，2学年オープンスペース	対象/人数	2年生103名，保護者85名
担当教諭	青木 恵津子	ファシリテーター	沼本 美代子
講師	パク ミジョン（韓国） プリタ ケツォルト（ドイツ 守谷市国際交流員） アンバー チャン（オーストラリア 県国際交流員）		

活動内容

歓迎の歌「みんなで123」/グループ交流（オーストラリア・韓国・ドイツ各コーナーに分かれてお国の紹介），民族衣装の紹介

児童の感想

・オーストラリアのパズルがとても楽しかったです。日本より広いけれど，人は少ないそうです。日本は今冬なのに，オーストラリアは夏だと聞いてびっくりしました。サンタさんがサーフィンをするそうです。歌も教えてもらって嬉しかったです。

・韓国には，キムチが200種類もあることがわかりました。1才から食べるそうです。礼儀のお話を聞いて，「もっと礼儀正しくしなくちゃ。」と小さい声で言っていました。先生の服がきらきらしてとてもきれいでした。着てみたくなりました。韓国がすきになりました。

・ドイツのいろいろな写真やお金を見せてもらいました。大きなビルがいっぱいでした。寒い冬でも朝と夜は冷たい物を食べるそうです。不思議でした。パトカーや警察官の服は緑色でした。×ゲームが楽しかったです。世界を探検してみたくなりました。

先生の感想

・各国の先生方が，丁寧にわかりやすく，そして何より楽しく自国について話して下さったので，誰もが最後まで熱心に聞くことができました。ゲームをしたり×クイズに答えたりする児童の姿はとても生き生きしていました。インタビューのコーナーでは，それぞれの国の服も紹介してくださいました。

・子どもたちが，自分たちと違う国があるということを感じることができたと思います。そして，子どもたちが世界に目を向けるよい機会となったことを嬉しく思います。

保護者の感想

・3カ国の方々から，その国の文化や生活を学ぶという学年活動に親子で参加しました。講師の

方々のお話は，とてもわかりやすく興味深いもので，笑ったり「へえ～っ！」とリアクション大きく感心したりと，子どもたちと一緒に夢中にさせられました。

・オーストラリアの話の中で，国を象徴するものにカンガルーとエミューが描かれているという話を聞きました。その2匹は後ろに下がれず，前にしか進むことができない動物だそうです。そこには，振り返らずに前に向かっていこう！という国民の心が示されているそうです。大変意味のある話で，感動しました。

・この日，我が家の夕食時は，国際色あふれた話で盛り上がりました。

成果と課題

・事前に世界の話聞く時間だということを伝え，みんなで話し合い，「ワクワク交流集会」と名前をつけました。準備を進めていく中で，歓迎の歌「みんなで123」の1・2・3をドイツ語や韓国語で練習したり，国旗を調べたり，体育館を飾るアルファベットを画用紙に大きく書いたり，3つの国について調べることで，より知りたい学びたいという意欲を持って集会に参加できました。それぞれの先生が低学年という実態に合わせて，わかりやすく実物を見せながら話したり，ゲームやクイズ形式で自国について紹介して下さったりしたので，大変興味をもって外国の文化に触れることができ，日本との違いに気づくことができたと思います。

・外国の文化に触れる機会を継続して計画していくために，さらに工夫改善を加えながら，より充実した活動ができるよう努力していきたい。

